

多摩第三小学校建替事業 第4回地域懇談会 実施報告書

1. 開催日時

令和5年5月13日(土) 13:00~14:30

2. 会場

多摩第三小学校 校舎3階 図書室

3. 参加者

・会場参加者:22名

児童保護者、卒業生、地域住民、自治会、学校運営協議会委員、
乞田・貝取ふれあい館運営協議会、教育委員、市議会議員

・オンライン参加者:2名

・事務局:14名(多摩市職員・三小校長・副校長含む)

4. 懇談会周知方法(対象者)

(1)学校より児童へ配布(児童保護者)

(2)ポスティング(学校近隣住民)

(3)自治会・マンション管理組合へ配布(学区内及び一部学区周辺)

(4)学校便りを通じて配布(児童保護者)

(5)児童保護者LINEを通じた周知(児童保護者)

(6)地域懇談会ポスターの掲示(児童保護者)

(7)地域懇談会ポスターの配布及び掲示の依頼

(近隣保育園・幼稚園園児保護者・コミュニティセンター利用者)

(8)市公式ホームページへ掲載(全て)

5. 懇談会の内容

(1)多摩第三小学校建替基本構想について

(2)地域懇談会参加者からの主な意見について

(3)児童・教職員アンケートの結果

(4)教育委員会や経営会議での意見について

(5)敷地の現状について

(6)休憩

質疑応答(意見交換)

6. 会場の様子について



7. 質疑応答(意見交換)

Q1:児童アンケートでは、学校の中で良くしてほしい場所の一番がトイレであるが、なぜ今までトイレの整備を行ってこなかったのか。

A1:現在は学校施設の大規模改修工事でトイレ洋式化工事を行っているが、多摩第三小学校の大規模改修工事をしたのは少し前の事であり、その際に実施をしてこなかったため、現在課題として残っています。また、アンケート調査の結果で50%を超える意見を頂いていることから、建替えとは別に整備の検討もすべきと考えています。

Q2:

- ①トイレ整備の件は、建替えとは別に対応してあげるべきかと思いました。
- ②新たに着任された校長先生は、多摩第一小学校・多摩第二小学校の赴任歴があるとのことで、建替えの経験を活かし、基本計画策定の際にはぜひ事例など紹介していただきながら進行していくのがよいと思いました。
- ③小学校のプールは試験的に外部へ民間委託をしているかと思いますが、今後の小中学校は全て外部委託へ本格実施となるのか、あるいはまだ結論は出ていなくて三小建替えには反映できない状況なのか伺いたい。

A2:

- ①A1に同じ。
- ②今後も学校とよりタッグを組んで取り組んでいきたいと考えています
- ③小学校は、今年度から全校外部の温水プールで本格実施することが決まりました。新たな三小にプールをつくるかどうかは、今後の基本計画や基本設計の中で改めて検討して決めていきます。

Q3:

- ①スケジュールの見直しとあわせて北側敷地拡張の検討をすることを決めたのは大きな進歩であり、ぜひ進めていただきたい。
- ②児童アンケートの結果によると、児童も校庭が狭いことを実感しているので、敷地拡張はこのことと繋げて、子どもファーストで検討していただけると良いかと思えます。
- ③体育館は入学式や卒業式の時、都道を走行する車両の音が凄く、環境が悪い。いずれ建替えになるので、同じタイミングで建替えるのが効率的であると思いました。
- ④学校は屋上面積が広く、今後温暖化で豪雨も予想されるため、地下に貯水槽を設けることで対策が図れるとともに、災害時の非常用水としても使えると考えます。
- ⑤子どもたちは、次世代の宝であり、ぜひ良い方向に進めていただきたい。

A3:子どもファーストについては、今後様々な検討を進めていく上で、我々のモットーとして子どもたちのために建替えを進めていきたいと考えています。

Q4:学校は、災害発生時は災害拠点になるため、このことを踏まえて配置を検討すべきと考えます。現在の配置で災害時に都道から緊急車両が突入するのは入りづらく、この視点から検討すると自ずと体育館の位置も決まってくると思われます。災害に強い設備は今から準備しておかないと起きてからでは遅いので、地域住民の事を十分考えて建替えていただきたい。

A4:学校が地域拠点になることはもちろん考えていく予定です。突入しやすい配置や避難者のアクセ

ス、乞田川が近くにあることを踏まえて災害拠点としての学校施設を整備していく予定です。

Q5:どの位期間を要するか分からないと思うが、北側敷地拡張の検討によりスケジュールに空白が生じるのは良くないため、配置に係らない部分は基本計画の策定を進行するなど、ここまでの流れを切らさずに上手く進めていただきたい

A5:敷地拡張については、相手もいることなので現時点では、具体的にどの程度要するか未定である点についてはご了承いただきたい。今後については、適切な時期に報告をしていく予定であるが、拡張した敷地に校舎の建設が可能であるかなど、先んじて検討ができるものは着手していきたいと考えています。

Q6:敷地拡張を問わず、建物の大きさはある程度決定できるものなのだろうか。建物規模は、今後の三小の児童推計を検討し決まってくると考えるが、10年後、20年後の時のことも考えて、検討していくのが良いと思いました。多摩市はこの先少子高齢化になっていくので、その辺も考えZEB化とともに検討するのが重要と思います。

A6:建物の詳細については、ZEB化も含めて基本計画・基本設計で検討していく予定です。

Q7:都区内の公立小中学校では、土地の狭あい化の影響もあり、教室棟と体育館棟を分け、体育館棟にプールや屋上に校庭があるケースもある。平面に並べるイメージ以外も検討してはいかがか。

A7:都区内の学校等、先進地事例も今後視察し参考にしながら、室内のレイアウトも決めていきたいと考えています。

8. 参加票集計結果(n=12)

(1)過去の地域懇談会(オンラインを含む)の出席状況について

①第1回(12/3 開催分)

出席した :8名(67%)

出席していない:4名(33%)

②第2回(1/21 開催分)

出席した :10名(83%)

出席していない:2名(17%)

③第3回(2/11 開催分)

出席した :8名(67%)

出席していない:4名(33%)

④初参加 1名(8%)

(2)参加票提出者の年齢及び立場について

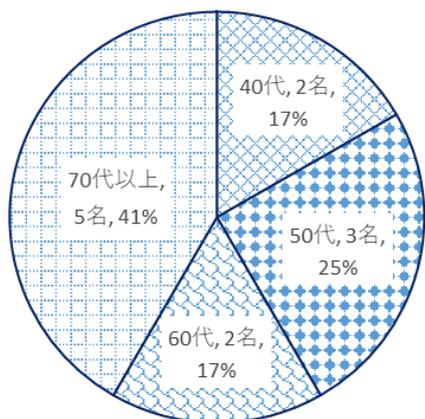


図1 参加者年齢分布

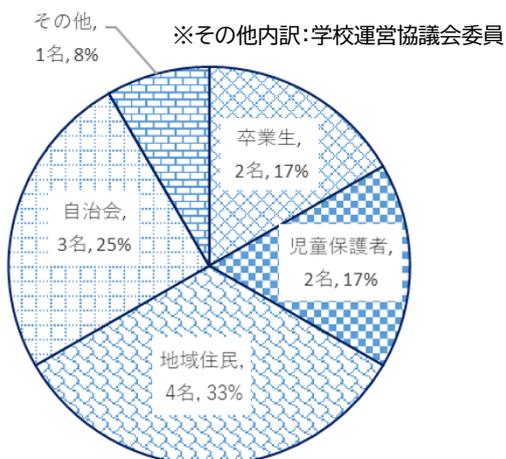


図2 参加立場分布

(3)新しい学校に対してのご意見(自由記述、原文ママ)

- ・今後も意見交換しながら、今後も児童に良いものを残してあげたい
- ・検討が不足

以上